

報道関係各位

〔速報〕ITUインターナショナルイベント

第1回全日本男子エイジグループトライアスロン選手権
FISU世界大学トライアスロン選手権日本代表選考会
第16回天草国際トライアスロン大会

競技距離 51.5km (スイム1.5km/バイク40km/ラン10km)
開催日 2000年(平成12年)6月4日(日)
開催地 熊本県本渡市特設会場
主催 本渡市、本渡市教育委員会、(社)日本トライアスロン連合(JTU)

日本代表の西内が天草2連覇、女子は中西がランで引き離して優勝

6月4日(日)、日本の51.5kmのトライアスロンの発祥の地、天草で第16回天草国際トライアスロン大会が開催された。この大会はITUインターナショナルイベントであり、また第1回全日本男子エイジグループ選手権、FISU世界大学トライアスロン選手権日本代表選考会として行われた。

エリート男子では、西内洋行(チームテイケイ)が、昨年に引き続きラン勝負を制して優勝。女子では、中西真知子(チームNTT東日本)が、ランラップ1位となる好走を見せ、優勝した。

ジュニアでは、女子は大松沙央里(日本女子体育大学)が、男子は益田大貴(NITTOH TEAM KEN'S A&A)が優勝した。

また男子エイジグループ選手権では、15-19歳が大村睦(鹿児島県協会)、20-24歳が高浜邦晃(福岡県連合)、25-29歳が泉健児(大阪府協会)、30-34歳が武田浩詩(兵庫県協会)、35-39歳が馬場孝利(鹿児島県協会)、40-44歳が相本忠(山口県協会)、45-49歳が萱野末弘(熊本県連合)、50-54歳が塚本敬三(熊本県連合)と、8名の優勝者が誕生した。

女子では、15-19歳が渡辺英恵(大阪府協会)、20-24歳が早野美智子(熊本県連合)、25-29歳がスーザン・ケリー(宮崎県連合)、30-34歳が羽田珠子(愛知県協会)、35-39歳が矢島ルリ子(熊本県連合)、40-44歳がサンドラ・スミス(広島県協会)が1位となった。

スイム・バイク・ランを3名でつなぐリレーの部では、崇城大アスリートが優勝した。

このレースの結果、今年7月30日にハンガリーのティシュアウィバローシュで行われるFISU世界大学トライアスロン選手権への出場者に、女子は中西(桃山学院大学出身)、枇杷田深雪(ニデック/大阪信愛女学院短期大学出身)、大松沙央里(日本女子体育大学)が、男子は菊地次郎(山形大学)、竹内鉄平(アラコ/南山大学出身)、永田成也(崇城大学)が内定。残り男女3名ずつと合わせて、後日、日本学生トライアスロン連合から正式発表される。

西内が余裕の2連覇

午前7時の天候は雨。水温18.8度であったため、ウエットスーツ着用許可で、午前8時に男子のレースがスタートした。

500m、3周回のスイムの序盤を先行したのは西内。しかし、スイムフィニッシュでは、ウィリアム・スミス(ニュージーランド)が18分14秒でトップを奪うと、吉越慎吾(チームINAGE)、バシリス・クロミダス(ギリシア)、西内、児玉誠治(流通科学大学)、斉藤大輝(アラコ)、竹内、の7名が4秒以内で計測点を通過した。

バイクに入るとこの7名が第1集団を形成。途中でスミスが3回エスケープを試みるが、いずれも集団が追いつき、第1集団がそのままバイクを終える展開となった。

ランで飛び出したのは、スミス、クロミダス、西内の3名。西内は、1周目に二人の走りを冷静に分析。登りで遅れるクロミダスと降りて遅れるスミスの弱点を2周目に突き、登りでクロミダスをパス、降りてスミスを引き離すと、そのまま1時間50分10秒のタイムでこの大会2連勝を飾った。2位は、1時間50分33秒でクロミダスが、13秒遅れてスミスが3位となった。

西内は、「去年と同じようなレース展開になったが、今年は全体的に余裕をもって周りが見えた。特にランでは去年のレースを思い出しながら、相手選手おウィークポイントを探るといった実践的な経験ができた」とレースを振り返った。ギリシアのシドニー・オリンピック代表選手であるクロミダスは、「西内はさすが日本のオリンピック代表」と素直に脱帽の様子だった。

苦手のランを改善した中西が1位に

8時30分のスタートとなった女子は、スイムが得意な中西をスイムフィニッシュ直前で小梅川雪絵(チームテイケイ)が逆転し、19分35秒のタイムでスイムをトップフィニッシュ。

バイクでは、逃げようとする中西を小梅川が追走。半ばでテレツァ・メイセル(カナダ)が二人に追いつくと、3名で第1集団がつけられた。バイク終盤で、小梅川が離れ、中西、メイセルの順でバイクフィニッシュした。

ランに入ると、中西が昨年からの改善した走りでの快調とばし、2位に2分19秒の差をつける2時間3分18秒のタイムで優勝した。2位は廣瀬梨江(チームINAGE)、3位は2時間6分7秒で枇杷田深雪となった。

中西は、「スイムで思い通りに逃げられず、バイクでもメイセルの強力なバイクの力に置いて行かれそうになったが、走り込みを続けて結果ができてきているランで引き離せて勝てたのが嬉しい」と笑顔で答えた。

エリートの部

・出場選手数 44名(女子15名、男子29名)
・完走選手数 43名(女子15名、男子28名)

ジュニア

・出場選手数 11名(女子6名、男子5名)
・完走選手数 10名(女子6名、男子4名)

エイジグループ

・出場選手数 452名(女子34名、男子418名)
・完走選手数 239名(女子31名、男子408名)

リレーの部

・出場選手数 42名(14チーム)
・完走選手数 55名(13チーム)

・天候: 雨 気温: 18.8 水温: 19 湿度: 86.7% 風向・風力: 西1.9m(7:00am現在)

〔問合せ先〕 社団法人日本トライアスロン連合
〒150-0002東京都渋谷区渋谷2-9-10 青山キングビル3F
03-5469-5401(代) Fax 03-5469-5403